

8月21日(水)、世耕弘成経済産業大臣が 苫小牧 CCS 実証試験センターを視察されました

8月21日(水)、世耕経済産業大臣が、苫小牧 CCS 実証試験センターをご視察されました。当日は、苫小牧市の岩倉博文市長も実証試験センターにご来所くださり、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の石塚理事長、当社社長の石井とともに大臣をお出迎えしました。

岩倉市長からは、大臣に対して苫小牧における今後の CCS の展望についての期待が述べられました。大臣はまず、実証試験の概要説明を受け、その後、約 90 分にわたり関連設備やシステムをご視察されながら CCS 実証試験についての 詳細な説明に耳を傾け、質疑応答のやりとりがありました。

大臣は視察後の記者会見で、CO₂の分離回収・貯留のプロセスが安全かつ着実に実証されていることを確認したこと、また、実証試験の実施にあたり苫小牧市をはじめ地元の皆様のご理解・ご協力への感謝の気持ちを表され、この秋には当初の計画である 累計 30 万トンの CO₂ 圧入を達成する見込みであり、これまでの成果を実用化につなげていくための政府の新たな取組の方向性や、苫小牧の実証試験設備の有効活用を含めたカーボンリサイクルへの展開への考え等を述べられました。



世耕大臣と岩倉苫小牧市長



プレゼンルームでの説明の様子



視察の様子(屋上)



視察の様子(圧入井)